

# 2013年3月期 業績概要 (Appendix)

2013年 4月

アンリツ株式会社  
代表取締役社長 橋本 裕一



東証第1部:6754  
<http://www.anritsu.com>



# 注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

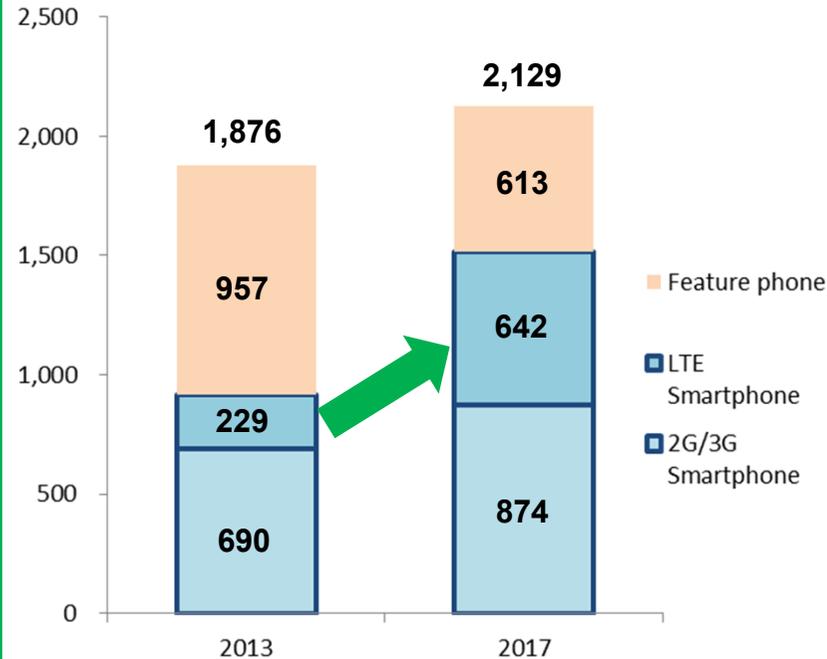
なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

# 1. モバイルブロードバンドサービス市場

【携帯電話/スマートフォン出荷台数】

LTEスマホが2.8倍に拡大

(million units)

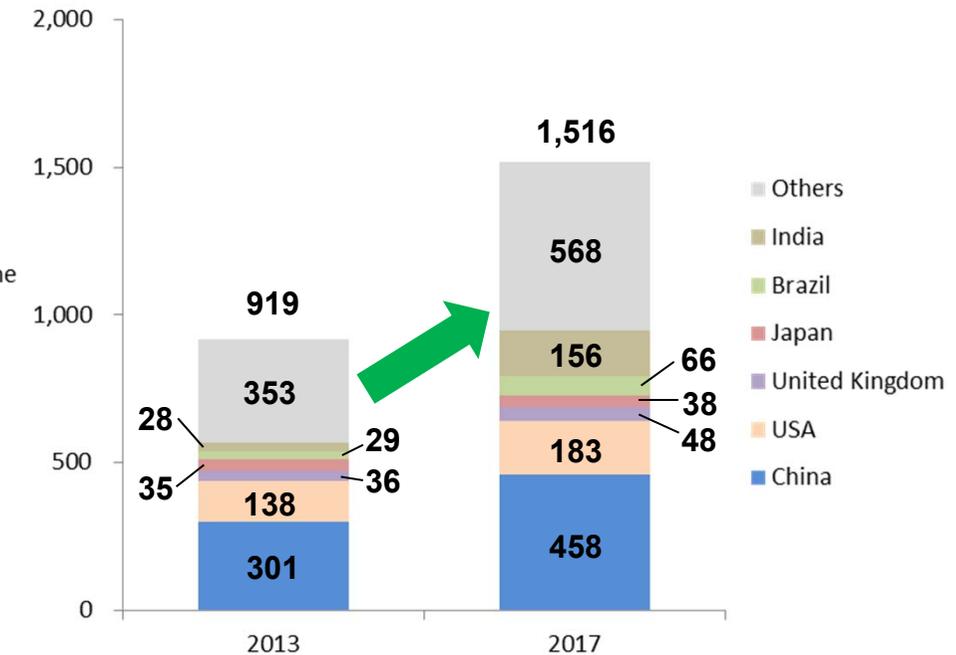


Source: IDC, Gartner

【スマートフォン 地域別出荷台数】

中国が世界市場の30%以上  
新興国市場が急成長

(million units)

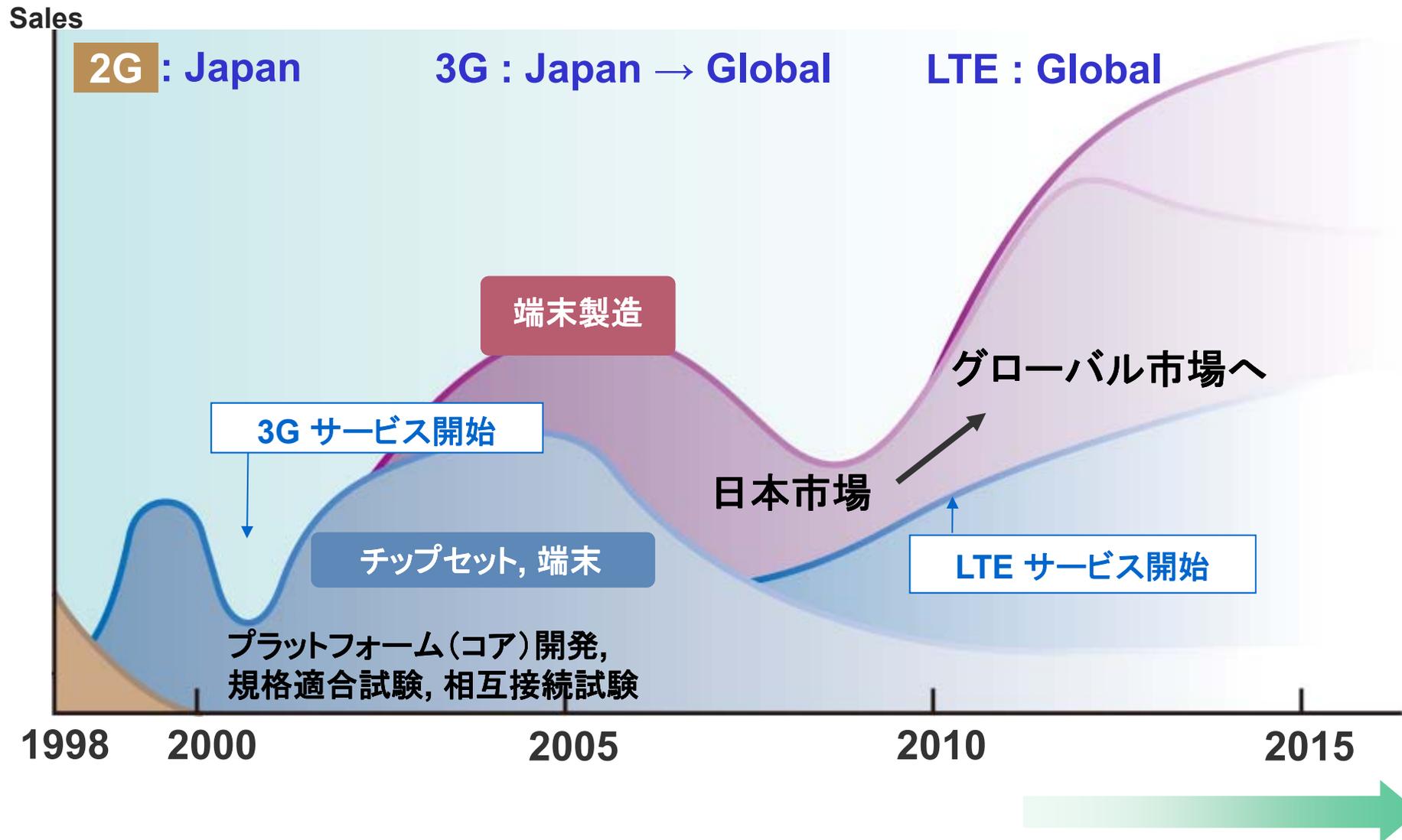


Source: IDC

(モバイル通信規格の進展)



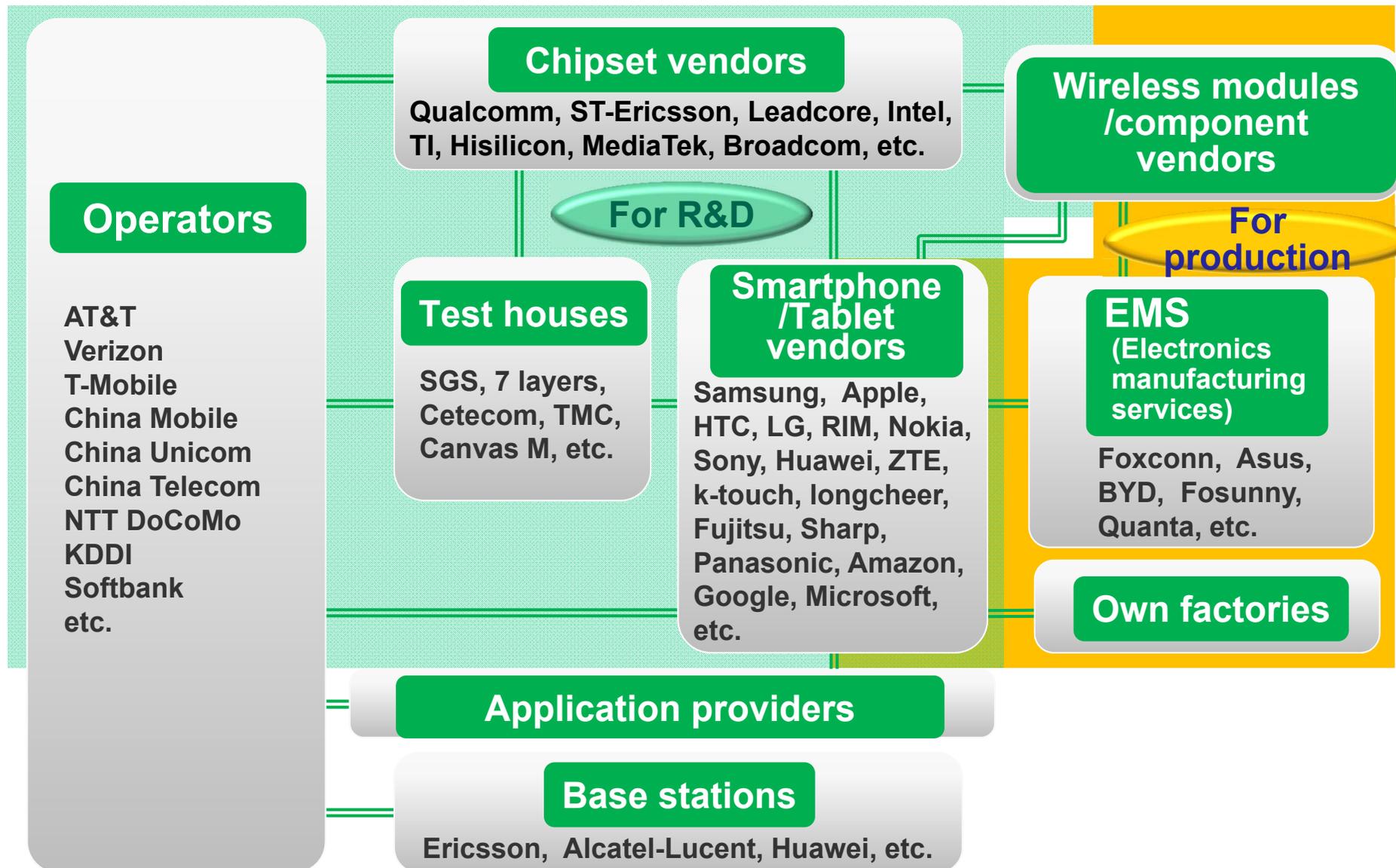
## 2. アンリツのモバイル計測ビジネスのトレンド



### 3. モバイル開発ビジネスの市場動向と事業機会

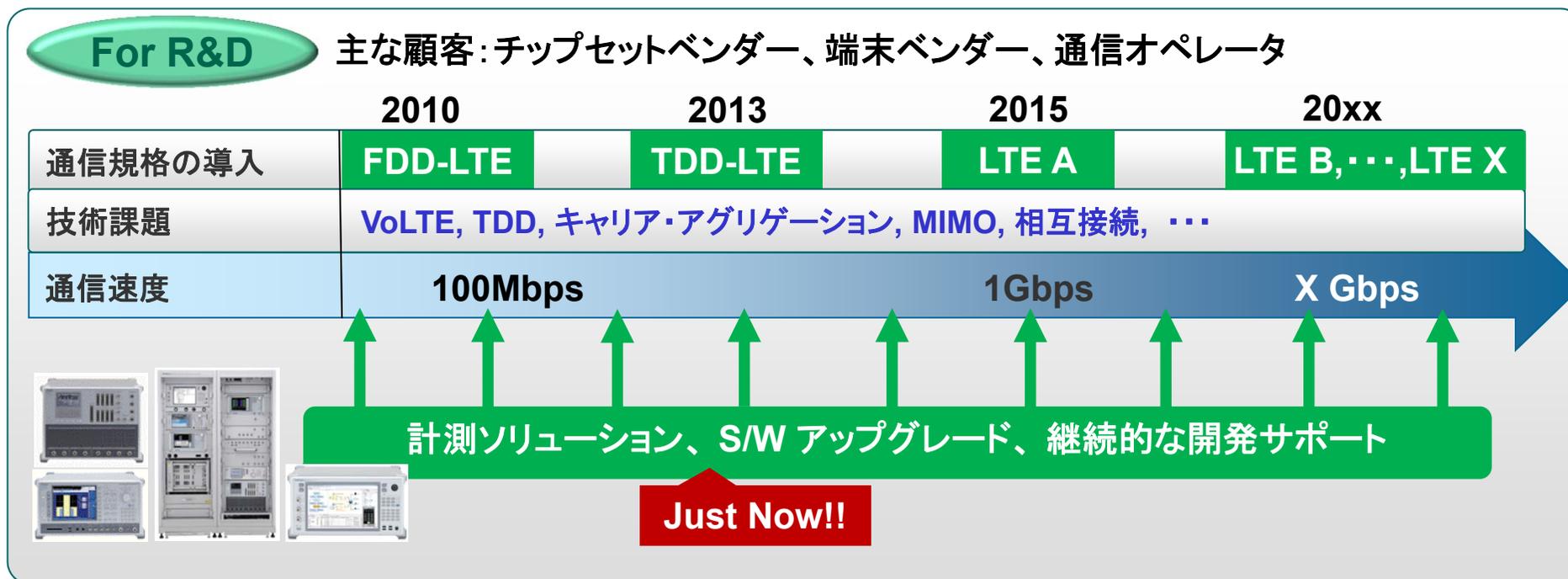
	プラットフォーム (コア)開発	規格適合試験		オペレータ 受入試験	スマートフォン 商用開発
		RF	プロトコル		
用途	通信規格開発 チップセット開発	規格適合性試験 相互接続試験		通信キャリア認証 試験	アプリ開発 端末動作検証
主な顧客	チップセットベンダー 端末ベンダー	チップセットベンダー、端末ベン ダー、通信キャリア		通信キャリア テストハウス	端末ベンダー アプリ開発事業者
主要テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FDD-LTE, TDD-LTE</li> <li>・VoLTE (Voice over LTE)</li> <li>・LTE-Advanced関連技術(キャリア・アグリゲーションなど)</li> <li>・MIMO (Multi Input Multi Output)</li> <li>・3G/LTEとSRW (Short Range Wireless)のチップセット一体化</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・データスループット 向上</li> <li>・消費電力 など</li> </ul>
市場動向・ 事業機会	 No.1ポジション 堅持	 No.1ポジション 堅持	 市場拡大 ポジション向上	 市場拡大 ポジション向上	 市場拡大 ポジション向上
製品					

## 4. モバイル通信市場の業界構造とプレイヤー



# 5. モバイル開発ビジネス

顧客の開発環境のサポートによる継続的なビジネスを獲得



Notes: VoLTE (Voice over LTE) : LTEプロトコルを用いた音声通信。

現在のLTEスマートフォンの音声通信は3Gのプロトコルを利用している。

キャリア・アグリゲーション: 複数の割当周波数を組み合わせることで、より大きな帯域幅を仮想的に作り出し、高速通信を可能にする技術。

MIMO(Multi Input Multi Output) : 送受信ともに複数のアンテナを持ち、同一周波数軸上でデータの送受信を行う無線通信技術。

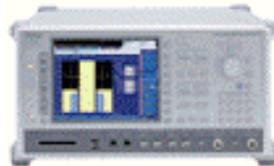
## 6. モバイル製造ビジネス

顧客の生産性向上に向けた需要を捉え、リピートビジネスを獲得

**For  
production**

主な顧客: 端末ベンダー、モジュール/コンポーネントベンダー、EMS

**ソリューション : 専用ワンボックス・テスター**



**2 ports  
for 2G/3G/LTE test**



**4 ports  
for 2G/3G/LTE & SRW  
(Short Range Wireless) test**

**需要のトリガー**

- ① 生産ラインの変更: 2G → 3G / LTE(FDD,TDD)
- ② 生産能力の拡大
- ③ 生産効率の向上
- ④ テストプロセスの統合: 3G / LTE + SRW (W-LAN, Bluetooth, etc.)
- ⑤ 新しいプレイヤーの出現

**成功のキーファクター**

生産効率の向上に向けた顧客サポート(R&Dサポートを含む)

## 7. 計測事業の中長期的な利益構造モデル

	FY2011	FY2012	中長期の ターゲットモデル
COGS	39%	38%	39-42%
SG&A	30%	30%	28%
R&D	11%	11%	10-13%
営業利益率	20%	21%	≥20%
R&D ROI(連結)*1	4.9	4.9	≥4.0
営業利益率(連結)	15%	17%	18%

\*1: R&D ROI: 売上総利益 / R&D費 (共通費用を含む)